

おめでとうございます

飯田耕一氏に瑞宝小綬章

飯田耕一氏（神崎本宿）が瑞宝小綬章を受章されました。

飯田氏は昭和49年から平成19年まで千葉県庁に勤務し、地方課（現 市町村課）において市町村行政を18年間担当。その間、市町村行財政の支援・指導にご尽力されました。その後、企画部広報課報道室長、企画部広報課長、総合企画部知事室長、商工労働部長、総合企画部長等を歴任し、地方自治の振興に大きく貢献されました。

飯田氏は「この度の受章にあたり、共に仕事をした皆さまに感謝しています。今後は神崎町のために、微力ながらお役に立てるよう、精進いたします。」と話されました。



遠藤栄治消防団長に藍綬褒章

遠藤栄治消防団長（小松）が藍綬褒章を受章されました。

遠藤氏は平成2年4月1日消防団員を拝命以来、29有年余の永きにわたり全力で消防団活動に取り組み、数々の災害現場において被害の軽減を図るとともに、消防団組織の充実強化に尽力されました。

受章にあたり、「この度の受章に際し、共に活動した団員に感謝します。受章は私一人の力ではなく、町民の皆様にご協力頂き、火災予防意識が向上したことによる1年以上の無火災達成など、町防災体制の強化に対する評価と考えております。

これからも、災害のないまちづくりの為に邁進いたします。」と述べられました。



郡司好夫氏に瑞宝双光章

郡司好夫氏（高谷）が瑞宝双光章を受賞されました。

郡司氏は昭和48年から平成27年まで習志野市消防に勤務し、特別救助隊では隊員から隊長までを歴任。災害現場の救助活動において活躍し、人命救助にご尽力されました。消防救助技術大会では全国大会に出場し、優秀な成績をおさめ特別救助隊の資質向上に努められました。その後、習志野市消防本部予防課長、次長を経て参事を務められました。

受章にあたり、「人と人との信頼関係を大事にし、42年間、消防職員として奉職しました。この栄誉に恥じることが無いよう、邁進いたします。」と述べられました。



寺内 誠氏に全国防犯協会連合会長銀賞

寺内誠氏（神崎神宿）が全国防犯協会連合会長銀賞を受賞されました。

寺内氏は平成5年4月1日、少年警察ボランティア少年補導員・少年指導委員に委嘱され26年以上の永きにわたり、少年補導活動等に従事し、青少年の健全育成に尽力されました。

ボランティアや啓発活動を通して、地域の安心安全に貢献された長年の活動に感謝いたします。この度の受賞おめでとうございます。



受賞を喜ぶ寺内氏